

高坂町 地域 ビジョン

〈概要版〉 令和2(2020)年3月

TAKASAKACHO AREA VISION



1》 地域ビジョン策定の目的

- 高坂町(以下「町」といいます。)には、佛通寺や高坂自然休養村があり、中山間地域の中では観光・交流資源に恵まれた地区となっていますが、紅葉時期に集中した来訪になっています。また、過疎化・高齢化が進行するとともに、商業サービス施設が減少してきているほか、高坂小学校が平成25(2013)年3月で閉校となりました。
- こうした状況において、引き続き、活性化に向けて、新たな取組を推進するためには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力するとともに、地域の将来像の実現に向け、目標を持ってまちづくりに取り組んでいくことが重要です。
- このため、高坂町内会では、関係団体とともに平成26(2014)年3月に策定した「高坂町活性化計画」を踏まえて、新たに「高坂町地域ビジョン」の策定に取り組みました。

2》 地域ビジョンの役割

- 「高坂町地域ビジョン」は、高坂町内会が中心になって取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体などで町づくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。
- また、計画内容を広く発信して、高坂町出身者、都市住民、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

3》 地域ビジョン策定の取組

- 高坂町内会では、各種団体の代表者などとともに「高坂町地域ビジョン策定会議」を開催し、策定に取り組みました。
- また、策定にあたっては、住民の皆さんとの幅広い意見を聞くために、全住民を対象とした意見交換会(ワークショップ)を行いました。

TAKASAKACHO 2020
AREA VISION



高坂町の資源

佛通寺、高坂自然休養村、昇雲の滝、ぶどう園、和蜂の養蜂、佛通寺の座禅体験、竹細工、高坂町4大祭り(さくらまつり、七夕まつり、高坂祭り、松明祭り)など

TAKASAKACHO AREA VISION



まちづくりの体系

将来像の実現に向け、目標を持って取り組みます

将来像



美しい景観の中で誰もが元気に暮らし、交流する町 たかさか

基本計画

計画の
推進体制

1 高齢者が安全安心に暮らせる町づくり

- ① 高齢者等の見守りの推進と困りごとの支援
- ② 高齢者等の生活支援の推進
- ③ 高齢者等の交流・生きがい活動の推進

2 誰もが住みたくなる町づくり

- ① 子どもの育成と子育ての支援
- ② 若者定住の促進
- ③ 町出身者との交流の推進
- ④ 移住の促進

3 地場産業が盛んな町づくり

- ① 農地の保全と農業の振興
- ② 林地の保全と林業の振興
- ③ その他の産業振興

4 多彩な資源を活用した観光・交流の活発な町づくり

- ① 四季を通じての誘客の推進
- ② 美しい景観づくりの推進
- ③ 多彩な観光・交流体験の提供
- ④ おもてなし環境の充実

5 住民の強い絆で支えられた町づくり

- ① 住民交流の推進
- ② 町内行事の見直しと活性化
- ③ 自主防災活動の推進
- ④ 町PRの推進

- ① 計画の周知、取組への参加の働きかけ
- ② 計画の推進体制の強化
- ③ 情報の受発信体制の確立
- ④ 町内会の構成と主な連携団体

発行

高坂町内会(広島県三原市高坂町)